

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立弥生が丘小学校
校長 今村 昇 治

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率をわずかに下回っていました。
- ・「書くこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。図表などを用いて、書き表し方を工夫することがよくできています。
- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率を下回っていました。目的や意図に応じて、話の内容を捉えたり情報を見付けたりすることに課題が見られました。

(2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」の領域においては、全国の平均正答率を上回っていました。特に、数量の関係を式に表し計算することがよくできています。
- ・「データの活用」の領域においては、全国の平均正答率を下回っていました。目的に応じた適切なグラフから数の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。

(3) 理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「生命」「地球」「エネルギー」を柱とする領域においては、全国の平均正答率を上回っていましたが、「粒子」を柱とする領域については、全国の平均正答率を下回っていました。温度によって水の状態が変化することについての問題での正答率が下回っていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

調 査 項 目	本校の割合(%)	全国の割合(%)
毎日、だいたい同じくらいの時刻に寝ている。	93.0%	81.9%
毎日、だいたい同じくらいの時刻に起きている。	95.0%	91.0%
朝食を毎日食べている。	79.0%	83.3%
月～金曜日に、1時間以上勉強している。	63.0%	54.0%
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日(1日に複数)の授業で使用した。	67.0%	46.7%
5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	85.0%	81.0%
PC・タブレットなどのICT機器を使ってプレゼンテーション(スライド)を作成することができる。	85.0%	76.7%
将来の夢や目標を持っている。	64.0%	60.7%
人が困っているときは進んで助けている。	57.0%	49.2%

- ・就寝・起床については、「そうしている・どちらかといえばしている」と回答した本校の児童の割合は全国に比べて高く、ご家庭の協力により習慣化ができていていると思われます。しかし、朝食については、「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合は79.0%に止まり、全国の割合を下回っています。規則正しい生活や食事の大切さについての指導とともに、家庭での生活習慣についても再度見直す必要があると考えます。
- ・田代中校区では、6年生の家庭学習時間の目安を60分～90分としています。平日授業時間以外に1時間以上勉強している児童は、63.0%と全国の割合を大きく上回っています。(家庭学習や学習塾・家庭教師と勉強している時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれています。)しかし、1時間に満たない児童の中には、0～30分の児童が約15%いました。学校では、家庭学習が充実したものになるように内容を工夫するとともに、家庭学習が習慣化できるよう家庭と連携して引き続き指導に取り組んでいきます。
- ・PC・タブレットなどのICT機器活用については、授業での活用頻度、有用性やスキルは全国を大きく上回っているといえます。

4 今後の改善策(児童の力をさらに伸ばすために)

全職員で本校の傾向や課題を共有し、次の授業改善等に取り組みます。また、本校の良さを更に伸ばし、課題を解決する取り組みについて今後も検討を重ね、それを実践していきます。

- ・タブレット端末を有効に活用した授業づくりと復習に取り組みます。また、児童同士が話したり聞いたりする対話活動を授業の中に積極的に取り入れ、一人一人がめあてをもち、粘り強く考え、自分の考えを伝え合う対話活動等を通して、児童が自分の力を伸ばしていける授業の在り方を工夫していきます。
- ・児童のよさを見つけ、認め、伸ばし、褒める指導を心がけ、児童に向き合い寄り添った適切な支援を行います。また、児童が心身ともに健康に日々の生活を送り、自分らしさを発揮できるよう、学校・家庭・地域が連携して、児童の成長を見守り支えていきたいと考えています。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 生活のリズムを整えてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を付けましょう。
- ◎TVやゲーム、スマートフォン・タブレット等の使用は時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎学習する時間や時間帯を決め、毎日取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。

2 お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎お子さんの声に耳を傾け、親子でたくさん語り合しましょう。
- ◎お子さんが頑張ったことやよくできたことを積極的に褒めましょう。